

あなたと町政を結ぶ

議会だより



みのぶ

2009
Gikai Dayori
MINOBU
No.17



小正月^{ことほ}を寿ぐ獅子舞（西嶋） 撮影：望月喜久男 氏

12月定例議会

- 議案と質疑・・・・・・・・・・・・・・・・ P2～5
- 町長行政報告・施政方針・・・・・・・ P6
- 一般質問に4議員・・・・・・・・・・・・ P7～10
- 教育委員長あいさつ・・・・・・・・・・・・ P11
- 【町民ひろば】笠井千恵子さん・・・・ P12

一般会計補正予算

雇用促進住宅購入費に4,389万円

身延町十二月定例議会は、十五日に開会、十七日までの三日間の会期で開かれた。この議会では町長提出の一般会計及び特別会計補正予算一六件、指定管理者の指定二件、条例の制定・改正・廃止八件、組合規約の変更一件、契約一件、財産の処分一件の計二九件を審議し、いずれも原案のとおり可決した。また、議員提案の規則の改正一件を可決、請願一件も採択された。一般質問は十六日に四人の議員が登壇して、中山間地域総合整備事業をはじめ町内公共交通、観光振興、学校の適正配置など幅広く活発な質問を展開し、町当局の考えをただした。さらに、追加提出議案三件が提出され、いずれも原案のとおり可決した。

主な質疑答弁

▼地域情報通信施設について。

笠井万記議員

①指定管理者に㈱ネットワーク下部を指定したが、選定経緯について。②指定期間一〇年の根拠は。

総務課長

①財務内容、実績等を考慮した結果である。②目まぐるしく変化する情報化社会にあって、ある程度期間が必要として一〇年とした。

芦澤健拓議員

施設の供用開始が遅延した場合、

終了日は連動しないのか。

総務課長 終了日は確定

していると思っている。

日向英明議員

①条例では、町長は特別な理由があるとして認められるときは、加入者負担金、使用料を免除することが出来る。②特別な理由によって免除している件数は。

総務課長

①生活保護者及び災害にあわれた家庭である。②生活保護の家庭で三世帯である。



新春を迎えて

身延町議会議長

穂坂 英勝

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

平成二十一年の年頭にあたり、議会を代表しまして謹んでごあいさつを申し上げます。

皆様には、ご家族お揃いで健やかに、新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素、身延町議会に対しまして、温かいご理解とご協力、また絶大なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私も議会を取り巻く社会情勢、経済情勢が大きく変化する中で、まちづくりの主役は、町民の皆様であることを第一に考え、「住みよい町」づくりを実現するため、身近な議会、開かれた議会を目指すと同時に議会の活性化を推進してまいりますので、町民の皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げまして、新年のあいさつといたします。

望月寛議員

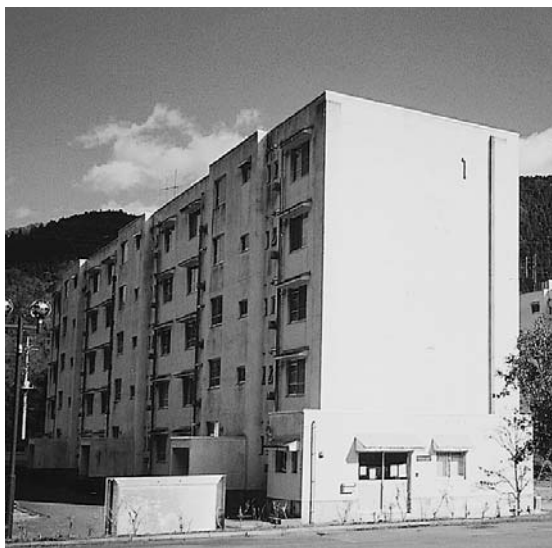
新規加入者の負担金の中で、保安器一基八万四、〇〇〇円とあるがその根拠は。

総務課長

町内の他地域との比較、山梨県下の状況、事業者の提案を考慮し検討した結果である。

望月寛議員

身延・中富地区では加入金を支払い加入したが、下部地区が無料では不公平でないか。



購入される雇用促進住宅（相又）

総務課長 民間事業者に
対し公共が関与すること
は考えていない。

松浦隆議員 下部地区で
は、最初は五〇〇円でス
タートし、今は一、〇五
〇円、急に三、一五〇円
となり困惑している。生
活保護を受けないで、年
金だけで暮らしている方
あるいは、自給自足で生
活している方などへの救
済はないのか。

総務課長 他の救済措置
は考えていない。

松浦隆議員 宮木・下田
原地区にネットワーク下
部ケーブルを接続でき
ないか。

総務課長 今後、事業者
との間での検討課題とし
たい。

芦澤健拓議員 住民説明
会を下部・古閑・久那土
三カ所で開いたが参加者
は何人か。

総務課長 約二〇〇人く
らいである。

芦澤健拓議員 SCTの
自主放送を使つての説明
会の開催は可能か。

総務課長 考えていない。

渡辺文子議員 指定管理
者は町長の承認を得て、



指定管理者に移管されるSCTスタジオ

加入負担金、利用料金の
減免または還付すること
ができるとあるが、生活
困窮者に対する減免は。

総務課長 考えていない。

▼SCT運営費とネット
ワーク下部との財政的
対比

笠井万記議員 今回指定
管理者が指定されたが、
SCTから移行すること
によつて財政的にはどう
変わるのか。

総務課長 設備のデジタ
ル化への初期投資だけで
も二億円程度の差が出て
くると思う、管理運営に
しても指定管理者が行う
ので財政的に違つてく
る。

笠井万記議員 一年間に
財政的にどの程度変わる
か。

総務課長 一〇年間の管
理委託料は八、〇〇〇万
円、年間八〇〇万円ぐら
いとなるが、SCTの決
算では、人件費を除いて
三、〇〇〇万円程度の費
用がかかっている。

笠井万記議員 住民基本

台帳カードの交付枚数が
一二九枚と少ないが町民
への周知に問題はない
か。

町民課長 一月の広報へ
の掲載、本庁、各支所の
窓口にて、手数料無料のパ
ンフレットを備える。

笠井万記議員 雇用促進
住宅購入による利活用お
よび将来展望は。

建設課長 雇用促進住宅
を町に譲渡の事例は県内
で初めてだと思う。三月
議会で新条例等を提案し
進めていきたい。

日向英明議員 ①重度心
身障害者は何人いるか。

②三堂平農業改良工事は
何メートルで、今年度補
正で終了するのか。

福祉保健課長 ①重度心
身障害者医療費助成受給
者は七八五人である。

産業課長 ②六八メート
ルで、今年度で終結とな
る。

川口福三議員 次世代育
成支援行動計画策定業務
の委託とは。

子育て支援課長 次世代
を担う子どもを育成する

家庭に対して支援する施
策、ニーズ調査のコンサ
ル業務の委託である。

川口福三議員 支援対象
園児、児童は何人か。

子育て支援課長 小学校
入学前の児童四二〇人、
小学生六五〇人で合計
一、〇七〇人である。

川口福三議員 有害鳥獣
の捕獲二一八頭の種類の
と、今後の計画について

産業課長 今年十月三十
一日までの実績は、猿が
三〇頭、猪が九〇頭、鹿
がない。

が九八頭である。今後、
年度内三〇頭を予定して
いる。

▼入湯税の滞納は改善さ
れたのか。

日向英明議員 入湯税は
順調に入っているのか、
奥の湯温泉使用料の滞納
はないか。

税務課長 収納率は八七
パーセント。滞納分は
四・三パーセントでなか
なか入湯税の改善は進ま
ない。

十二月定例会の審議日程

十二月十五日(月)

◇開会 本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・諸般の報告

・行政報告並びに町長
施政方針

・提出議案の報告並び
に上程

・提出議案の説明

・提出議案に対する質疑

・提出議案に対する討論

・提出議案に対する採決

・提出議案に対する採決

・提出議案に対する採決

十二月十六日(火)

◇本会議

・一般質問(四人)

・追加提出議案の報告
並びに上程

・追加提出議案の説明

・追加提出議案に対する
質疑

・追加提出議案に対する
討論

・追加提出議案に対する
採決

・追加提出議案に対する
採決

・追加提出議案に対する
採決

・追加提出議案に対する
採決

・追加提出議案に対する
採決

・追加提出議案に対する
採決

◇閉会

条例の制定

■身延町地域情報通信施設条例の制定

情報化社会に適応した情報通信環境を地域住民に提供し、魅力ある地域づくりを進めるための条例の制定。
※全員賛成で可決。

条例の改正

■身延町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例

独立行政法人国際協力機構法の一部改正に伴う一部改正。
※全員賛成で可決。

■身延町手数料条例の一部を改正する条例

住民基本台帳カードの普及促進のため、交付に係る手数料について期限を区切り無料とするため一部改正。
※全員賛成で可決。

■身延町農村情報連絡施設整備基金条例の一部を改正する条例

規約の変更

■峡南衛生組合規約の一部を変更することについて

組合の議会議員の定数を二二から一〇に変更するもの。
※全員賛成で可決。

補正予算

【一般会計】

■平成二十年度一般会計補正予算（第五号）

補正額 七、七二六万円
予算総額 九六億九、〇四六万円

【補正の財源】

・地方交付税

四、三九八万円

・国庫支出金

一、九八三万円

・県支出金

一、五八五万円

・財産収入

四、五二二万円

・寄附金

四、三三万円

・繰入金

五、二二万円

・諸収入

△七、八七万円

・総務費

△一、八二二万円

・給料ほか

給料ほか

・民生費

一、四五七万円

・長寿祝金ほか

衛生費 二、〇八万円

・補助金ほか

労働費 一、〇万円

■後期高齢者医療特別会計補正予算（第一号）

補正額 五七万円

予算総額

四億七、三七九万円

※全員賛成で可決。

■介護保険特別会計補正予算（第三号）

補正額 五九一万円

予算総額

一七億五、四三二万円

新介護保険システム移行作業業務ほか

※全員賛成で可決。

■簡易水道事業特別会計補正予算（第二号）

補正額 一、〇一五万円

予算総額

九億一五二万円

水道管布設替え工事ほか。

※全員賛成で可決。

■農業集落排水事業等特別会計補正予算（第三号）

補正額

財源項目の振替で、予算額の変更なし。

※全員賛成で可決。

■下水道事業特別会計補正予算（第四号）

補正額 △六三万円

正予算（第四号）

三億八、三二九万円

※全員賛成で可決。

期限を区切り無料となる住民基本台帳カード





年度内完成をめざして工事が進む西嶋分館

予算総額

一七億六、七七七万円

舗装復旧工事負担金等の減額。

※全員賛成で可決。

■青少年自然の里特別会

計補正予算（第一号）

補正額 六一万円

予算総額

四、二三九万円

食堂業務委託ほか。

※全員賛成で可決。

■下部奥の湯温泉事業特別補正予算（第一号）

補正額 △二七万円

予算総額 六四七万円

積立金の減額。

※全員賛成で可決。

■財産区特別会計補正予算6会計

積立利子補正のため省略。

略。

※全員賛成で可決。

契約

■地域情報通信施設整備運営事業契約

・契約金額

一億八、一五一万円

・契約の相手

株式会社ネットワーク下部

※全員賛成で可決。

人事

■入ヶ岳外二山恩賜林保護財産区管理会員

佐野 馨氏（大崩）

小笠原修治氏（大島）

鈴木 進氏（帯金）

吉野 政市氏（樟草里）

依田 至氏（大島）

名取 好巳氏（大島）

松野 拓氏（帯金）

※全員賛成で同意。

■大河内地区財産区管理会委員

佐野 喜一氏（大島）

鈴木 正男氏（丸滝）

平田 登氏（角打）

松永 竹久氏（和田）

吉野 賢造氏（帯金）

若林 庄明氏（大島）

佐野 菊一氏（丸滝）

※全員賛成で同意。

財産の取得

■財産の種類

職員用パソコン

■購入金額

一、五一五万円

■購入先

株式会社カルク

リース期間が満了となるので、機種更新のため

※全員賛成で可決。

財産の処分

■財産の種類・処分物件

有線テレビジョン施設を民間企業へ無償譲渡するもの。

90台を購入するためのもの。

※全員賛成で可決。

議会日誌

9月

8～16日 第3回定例会

16日 議会広報編集委員会

18日 柿島団地竣工式

24日 飯富病院組合議定例会

25日 例月出納検査

26日 議会広報編集委員会

30日 デマンド交通出発式

10月

3日 町村議会議員研修会

6日 議会運営委員会

6日 第4回臨時議会

6日 町長当選証書付与式

7日 後期高齢者医療広域連合議会

7～8日 町村監査委員全

10日 町村議会議長会議

14日 議員全員協議会

11月

14日 中北・峽南地区議長会

15日 峽南広域行政組合議会

15日 本栖湖クリーン大作戦

16日 戦

16日 峽南衛生組合議定例会

19日 第1回身延町招待野球少年野球交流大会

21日 例月出納検査

23日 依田町長・野中副町長退任式

24日 望月町長就任式

24日 議会運営委員会

30日 町村議会広報コンクール表彰式・議会広報研究会

12月

6日 青少年健全育成身延町推進大会

3日 議会運営委員会

8日 議会運営委員会

9日 議員全員協議会

町長行政報告および施政方針



十二月定例議会で町長の行政報告と施政報告が行われた。

行政報告

三位一体改革によるわずかな税源移譲と、五兆円超の交付税削減という中で、都市との地域間格差拡大で、自主財源の乏しい我が町では、かつてない財政的な苦境に追い込まれている。この様なときに、町長の任に当たすることは、光栄と同時に責任の重大さを痛感している。

さて、世界的金融危機で世界の株式時価総額は、約一年前のピーク時に比べ三千兆円も減少したと言われ、「世界大恐慌」であると言う学者もいるようである。

この様な状況の中で、国内外で大変暗いニュースが多かったと思われる。一方で、元気を与え

てくれた明るい出来事もあった。北京五輪での女子ソフトボールの金メダル獲得など女性の活躍が目立った中で、男子四百メートルリレーの銅メダル獲得は、日本文化を見えるような思いであった。また、四人の科学者のノーベル賞同時受賞は、世界に日本の力を示してくれたものである。

我が町では、身延山に、全国に誇れる五重塔が竣工された。また、議員全員協議会で、富士山世界遺産登録に向け本栖湖が資産候補と承認され、遺産登録に向けて加速がつくものと期待される。

中部横断自動車道開通を視野に入れた「波高島バイパス」のトンネルと新富山橋が開通の運びとなった。

朗読ボランティア「千の風」の皆様が、永年の朗読奉仕の実績が評価され、「野間読書推進賞」を受賞するという出来事があった。この賞は、全国でも年間、個人二名以内、団体二団体以内とい

う大変名誉な賞である。

秋の叙勲では深沢嘉元氏、遠藤靖公氏、望月美良氏が受勲し、教育功労者に岩本好氏、県政功績者に加藤基道氏、望月忠男氏が受賞した。心からお祝いとお喜びを申しあげたい。

町長就任以来、町の恒例行事に参加したほか、全国町村長大会に参加し、補正予算獲得や来年度予算の陳情を行ってきた。町の各種事業は、予定通り、進捗している。

公共下水道接続については、角打丸滝と常金塩之沢は、おおむね完了しているが、中富地区は、加入戸数八一一戸、接続率五六%で、地区の皆様には早期接続をお願いしている。

施政方針

「住んでよし、訪ねてもよし、おらが身延」を理想の姿と考えており、住民が住みよいのはもちろん、来たお客様が、「来てよかった」と満足し、二度三度と来てくれるような町にしなければならぬと考えている。二〇〇七年度の財政状

況は、経常収支比率八九・八%で、県内ワースト四位である。このような厳しい状況だからこそ行政財政改革を行わなければならない。まず職員の意識改革が必要で、就任時、「各自が仕事のプロ

になって、住民の思いを先取りし、思う存分仕事をしたい。そして町民から辞めてもらって困るといわれる職員にならなければならない」と要望した。仕事を直して欲しい。仕事や補助金等に不

でも始める勇氣とそれを大河にする根気」を実行できる職員を育てていきたい。

安全・安心なまちづくりにについては、次のように考える。

東海大地震で、わが町が県内で一番被害を受けると想定されている。山間地に集落が存在し、陸の孤島になるおそれが多い。そこで、ヘリコプターによる救急救助活動が必要になるので、県にヘリポート設置を要望す



住んでよし、訪ねてもよし…おらがまち

る。また、急傾斜地崩壊対策事業を県に要望し推進していく。

次に、「身延いちいち運動」と「ふるさと町民制度」について説明する。

「身延いちいち運動」は、町民一人一人が一つ以上のスポーツを楽しむ中で、体の健康を維持し、一芸で心の健康を維持し元気で心豊かな町民を増やしていきたいというものである。

「ふるさと町民制度」は、町内に関係のある人身延町を心のふるさとと考える人たちを全国から募集し、年会費をいただき「ふるさと会員」になってもらう。JAや商工会により、年三回程度、地元で収穫され加工されたふるさとの味を送って絆を深め、年一回ふるさとツアーを計画する。また、会員との懇談の中で、町の進むべき方向等についてご意見をいただき、ふるさと再生の一助とする計画である。

町民の意識改革は、役場職員の意識改革についてくるものと考えて、まず役場職員の意識改革を推進していく。



12月定例議会

ここが聞きたい！

一般質問

12月定例議会では4議員が質問に立ちました。
以下はその要約です。

質問

学校は地域文化のよりどころ、存続の努力を

答弁

地域と十分検討し

進めていきたい



渡辺文子議員

問 身延町立小中学校適正配置審議会より町立小中学校の適正規模、適正配置についての答申がされたが、児童・生徒数の減少に伴い、十年後には一中学校、二小学校が望ましいという内容だった。これは国や県の指標、指導に数字だけを当てはめたものだ。

そもそも、学校とは教育の場であることはもちろんだが、地域住民が集うことのできる地域文化の核であり、よりどころである。本町の小中学校は地域が育み、地域住民とともに歩んできた歴史

ある学校ばかりだ。学校の歴史は地域の歴史でもある。地域のシンボルである学校は統廃合するのではなく、存続すべきであると考えている。学校と地域の関係について、基本的な町の考えは、**教育長** 子どもたちのことを思えば、誕生から成人まで人格の形成された人をつくるのが一番重要である。町民の皆さんと話し合いながら進めていく。

問 統廃合で、学校がなくなれば、若い人たちはその地を去っていく。学校の統廃合で、今以上に児童・生徒数が減少すると考えるが、町の考えは、**学校教育課長** 各種の計画とも整合させ、これからも進めていく。当面、今の児童・生徒がお互いに切磋琢磨して、やっていける範囲の中で進めていく。

問 少人数教育の弊害は学校間の交流を通じて解消できる。全国的にも、どうしても学校を残したいという工夫の中で色々な取り組みをしている所もある。統合ありきでなく、行政としてそのための努力が必要だと思いが。**学校教育課長** 各学校間において、統合しなくても一緒にやっていけるかと模索したこともあったが現実の減少数が著しく、検討や努力の前に手を打たなければならぬような現実になった。

町長 答申には真摯に対応すべきだが、地域の皆さんとも十分検討し、進めてほしい。学校がなくなれば、若い人が出て行ってしまうという議論だが、以前廃校になれば残るが、学校が存続するのなら、少人数なのでよその町へ行って教育を受けさせると言われた事もある。

質問 **水道料金に行政の力点を**

問 出口の見えない不況が町民の生活をより苦しく、厳しいものになっている。水道料金を統一するための調整方針は五年というところで、特に行政の力点がおかれ安い水道料金でのサービスが行われていた中富地区においては今まで以上の負担が増えている。水道審議会でも、統一のための水道料金改定について議論をし

ている最中だが、値上げの方向だ。住みやすい町づくりのために、町民の負担が少しでも軽くなる施策はとれないか。**町長** 料金格差は正と今後の水道事業の健全な運営を図るため、水道料金の改定について、諮問を行い、審議中である。

審議会からの答申を受け、平成二十一年度には条例の一部改正、さらには町民への料金改定の周知期間を経て、二十二年の四月分から基本料金を統一料金体系としたい。



調理に挑戦する4年生児童（西嶋小学校）

質問

北部エリアへの中山間 総合整備事業の導入は

答弁

100%必要なものを、ワーク シヨップ方式で導入



芦澤建拓議員

望月町長のご就任を
祝いし、このような苦難
の情勢の中での勇気ある
決断に敬意を表したい。

問 中山間地域総合整備

事業は、下部・中富・身
延の三地区で平成二年か
ら本年度まで実施されて
きたが、今年峡南農務事
務所から北部エリア（中
富・下部）における「ワ
ークシヨップ方式」に
よる整備事業を提案され
た。三地区での過去の事
業に対する評価はどうか。

町長 三地区におけるこ
の事業は、それぞれの活
性化に貢献があったと評

活性化農道整備事業は、
国七〇、町三〇％であり
平均何％ということと言
えない。

価している。「下部ふる
さと振興館（みちの駅下
部）」、「なかとみ和紙の
里」、「ゆばの里豊岡」、
とくに、身延地区の「ほ
場整備」は、農業の機械
化・省力化に貢献してい
る。今後の中山間地域総
合整備事業の導入は、ワ
ークシヨップ方式による
ことを考えている。

問 新町における中山間
地域総合整備事業、中山
間地域総合農地防災事
業、ため池整備事業は毎
年約五千万円を負担して
いると思うが、町の負担
は平均何％か。

産業課長 中山間地域総
合整備事業では、国が五
五、県が三〇、町が一
五％、ため池整備は、農
地管理保全事業で国五
〇、県と町が二五％、清
沢・大炊平線の農村地域

性を考えている。ワーク
シヨップ方式による導入
は、地域の人たちが自分
の足で歩いて必要なもの
を厳選し、100%必要なもの
のみを選定し実施して
いくことで、町民の意識
改革につながってけると
考える。

問 各地区の長は、行政
連絡員であり、町からの
呼びかけをしてくれるか
どうか。

産業課長 今後、これを
進めていくにあたって町
が主導していくというこ
とは本来の目的から逸脱
することになる。峡南農
務事務所とも相談しなが
らお手伝いという形で進
めていきたい。

質問 民間処分場の 行政訴訟の現状

問 法定外公共物（青

線・赤線）の民間処分場
の使用不許可について、
現在、行政訴訟が提起さ
れているが、公表出来る
範囲で現在の状況を聞き
たい。

土地対策課長 法定外公



物産まつりでにぎわう道の駅しもべ

共物については、平成十
七年八月から協議を行い
（株山の都から法定外公
物の使用許可申請が出さ
れ、十八年一月に不許可
とした。（株山の都は、こ
の不許可を不服として身
延町に異議申立を行った
あと、県に審査請求を申
し入れたが棄却された。
同年十一月に甲府地裁に
行政訴訟を提起した。裁
判は、口頭弁論が七回行
われた後、現在、「争点
整理」が非公開で三回行
われている。

問 この裁判について、
町長がどのように判断さ
れ、今後の方針をどのよ
うに考えるか。

.....
*ワークシヨップ方式

地域住民が全員で、地
域を歩き、「改善すべき
場所」「残すべき場所」
「景観のよい場所」など
を選び提案する方式。

質 問

町内公共交通について

答 弁

町全体の交通システムを構築し足の確保を目指す



松浦 隆議員

問 町長の「ふるさと再生プラン」にある、住みよいまちづくりの基本的な考えは。

町長 毎年人口減が進み、中でも十五歳未満が激減している。さらに町内の事業所数も減少し、就労人口も毎年二〇〇人近くが、流出している。企業誘致や通勤時間の短縮が必要と考える。さらに観光振興促進や地場産業の振興を図るためにも、中部横断道の早期開通と、町内複数個所の活性化インターチェンジの実現に努力する。又、過疎対策として急傾斜地崩

落対策事業、デマンド交通構築の推進と、職員の意識改革、無駄ゼロを目指すし、行政改革を進める。

問 高齢者や子どもへの足の確保についての考えは。

町長 J R、民営バス、町営、町有バスとデマンド交通を組み合わせ、地域交通網計画を策定し足の確保に努めたい。

問 デマンド交通の試行運転の結果で見直しもあり得ると思うが、高齢者、子どもの足の確保への考えは変わらないか。

町長 そのとおりである。

質 問 デマンド交通試行運転と利用状況は

問 南エリアの試行運転と路線の説明を。

政策室長 二台で運行



デマンド交通に乗車する利用者（大城）

政策室長 複数の集落をセットにし、曜日によって出発点を変える運転を考えている。

問 七月からの試行運転に向けた、北エリアでの周知等の準備状況は。

政策室長 十一月に区長会で説明し、区単位で説明会を開催している。

問 町営バス、町有バス、民営バス等にかかる経費は。

政策室長 町営バスが約二千二百万円、町有バスが約五百万円、民営バス委託料が約五千五百七十七万円の計約七千七百二十一万円である。この経費補填のため、県から約千二百三十七万円の補助金が交付されている。

問 二十一年度から、デマンド交通システムが全町で運行される中、毎年増加している民営会社への委託料の今後の在り方は。

政策室長 試行の結果をみて検討する。

問 試行運転の結果を見てからでは遅いと考え、まず民営会社との金額交渉やデマンド交通との共存、連携の交渉を、強い姿勢で町が進めるべきと思うが。

質 問 北エリア計画の内容は

問 二十一年度から実施される北エリアでの試行運転の計画の内容は。

政策室長 下部地区、中部地区一台の運行を計画している。

問 地理的状况からして二台で空白地域の解消が可能か。

政策室長 二台では無理があるかとも考えられるが、試行運転の利用状況を見た上で検討したい。

問 北エリアの場合、地理的、距離的にも条件が悪すぎる。運行回数を減らして、奥の集落まで運行することを考えてはどうか。

政策室長 複数の集落をセットにし、曜日によって出発点を変える運転を考えている。

質 問 今後の町内公共交通と将来展望は

町長 町の財政等も勘案する中で、検討したい。

問 運行予定のデマンド交通と、現在四路線で運行されている町営、町有バスとの今後の連携は。

政策室長 現在町営バス等の利用者は年間約七万人、デマンド交通での利用見込みは最大三万人位で、約五万人の足は公共交通との連携でカバーする考えでいる。現行路線の減便、廃止も含め検討する。

問 町営、町有バスは町民の足である。採算だけで安易な廃止へ進むべきではないと思うが、町内公共交通の将来展望は。

町長 デマンド交通の結果を踏まえ、町全体の新たな交通システムを構築し、町民の足の確保に努めていきたい。

問 観光政策遂行上の基本軸と 身延観光の将来像は

答 并 観光振興計画の策定と 町民総ガイド運動の推進



福与三郎議員

問 町長は、選挙戦の中で、観光振興を推進すると公約しているが、政策遂行上の基本的スタンス、そして、ビジョン、また具体的にどのような政策を推進するのか。

町長 基本的なスタンスとして身延町観光振興計画を策定し、その中で町民総ガイド運動推進をすることを掲げた。また、身延山、下部温泉、中富和紙の里などそれぞれの観光資源を点から線にする付加価値、着地型、滞在型の観光振興を図る。

問 身延町の観光を語る時に身延山を抜きにして

観光課長 連盟の事務局として団体相互の連帯意識の高揚と情報交換を促進し、連盟の事業目的達成のため、誘客宣伝活動を展開し、入客の増大を図る。

問 三地区のネットワーク化は構築されていない、一刻も早く一体となった取り組みが重要だ。三地区のトップが論議することによってそれぞれの利害得失の壁を乗り越え発展していくことが可能だ。見解は。

観光課長 今後新年度に向けて体制を整える。

問 中部横断道の開通は 観光振興のチャンス

問 中部横断道の開通は身延町の再生、そして観光振興にとっても千載一遇のチャンスであると思うが。

町長 中部横断道の開通は、本町の産業立地や広域的な観光産業の発展など、地域活性化に寄与する効果が大きいと期待されている。すでに決定している

身延インターチェンジ（仮称）と併せ、和田地内、下田原地内に要望している地域活性化インターチェンジを設置することが工場誘致など、身延町の将来計画に絶対条件であり、この実現に向けて全力を投入していく。

問 町内インターチェンジの名称を「身延山」「下部温泉」とすることによって大きなチャンスが生まれる。関係機関へのアプローチが必要だ。

建設課長 国土交通省に對し、身延、下部、中富、身延山等の名称使用を要望している。

問 地域資源活用推進事業の中で埋没している資源、文化財が散在していることが明らかに

なっている。丸畑の微笑館を金山博物館へ、八日市場の歴史民俗資料館を中富和紙の里へ併設、集積することによって、これらの資源が蘇り、加えて観光増員に繋がるのではない

か。

生涯学習課長

微笑館は

立地条件に難がある。普通車のすれ違いも容易でなく利便性が悪いが年間二千人超の観客が来る。このことは、微笑館が木喰上人の故郷、丸畑に立地するがため付加価値を高めていることも要因だと考えられる。

歴史民俗資料館については、既存施設の展示スペース、収蔵スペースの問題もあるが、将来的には施設の機能強化を図りつつ、また、観光振興の視点も含め検討したい。

問 丸山公園を観光公園として整備を

問 埋もれ眠れる観光資源を発掘再開発することは新たな観光産業、観光

商業を生み出し、大きな経済効果を創出することができると

身延駅裏には丸山公園がある。中部横断道の開通を視野に、自動車による観光客の誘致、併せて身延線による誘客増大と同時に滞留時間

の延長に伴う商店街活性化が丸山公園整備によって図られる。

完全整備に向け研究検討されたい。

観光課長 全山を公園として整備するのは財政状況から厳しい、登山道整備、頂上にベンチ設置等検討したい。

問 熊野権現神社を修復再 建し下部温泉郷再生を

問 県、国の文化財指定を実現し、観光拠点に

生涯学習課長 修復、あるいは県指定に向け所有者の意向も確認しながら教育委員会として、支援を行っていく。



整備が望まれる丸山公園

第四回臨時会（十月六日）

一般会計補正予算

（第四号）

十九年度分事務費を償還するもの。

債務負担行為の補正

地域情報通信施設整備運営事業に伴うもの。

※全員賛成で可決。

老人保健特別会計補正

予算（第二号）

※全員賛成で可決。

補正額

身延下水道工事二〇一

予算総額

二工区工事請負契約

三億八、三三四万円

契約金額

五、三三三万円

・契約の相手

近藤工業株式会社

※全員賛成で可決。

身延下水道工事一九一八工

区工事請負契約の一部変更

増額の金額 一九四万円

変更後の金額

六、三八九万円

・契約の相手

株式会社高山工業所

※全員賛成で可決。

第五回臨時会（十一月十一日）

教育委員会委員の任命

・佐野雅仁氏（身延）

・小倉是勇氏（飯富）

監査委員の選任

・渡邊吉彦氏（常葉）

・公平委員会委員の選任

・羽賀茂次氏（梅平二区）

選挙管理委員会及び補充員

（委員）

・依田智文氏（丸滝）

・山梨信夫氏（下山）

・深澤幸雄氏（西嶋）

・高野榮仁氏（波高島）

（補充員）

・大澤武彦氏（清子）

・望月照紀氏（八日市場）

・深澤和彦氏（三澤）

・佐野勝規氏（梅平二区）

※以上、四件の人事案件は全会一致で同意。

お知らせ

三月定例議会は、三月中旬ごろ開かれる予定です。日程が決まり次第、防災行政無線でお知らせします。多数の傍聴をお待ちしております。

お問い合わせは

身延町議会事務局

四二―四八〇七

小松文雄教育委員長

就任あいさつ



当町の教育行政については、今、非常に早い速度で進化・発展しています。

その一例として、先般、久那土小学校において、県下の一〇町村、一五〇人ぐらいの先生方の出席を得まして、教育セミナーを実施しました。

その席上、研修モニターである東京大学大学院教授の佐藤学先生から、講義をいただき、久那土小学校は非常に素晴らしい学校である、山梨県の宝であるというお褒めの言葉いただきました。私は、これを非常に誇りに感じました。

教育は、地域基盤の整備が主であります。ソフト面、ハード面において、地域の皆さまのご協力を得ながら、教育行政にまい進したいと思っておりますので、今後とも、ご指導のほどをよろしくお願い申し上げます。

組合議会

峡南衛生組合定例会

■十月十六日

◇平成十九年度一般会計決算認定

・収入済額

五億七、三六〇万円

・支出済額

五億六、二八〇万円

・差引残金

一、〇七九万円

◇一般会計補正予算

・補正額 三八〇万円

・予算総額

五億九、一二二万円

・補正の内容

清掃費、火葬処理費

広域行政組合臨時会

■十一月十八日

◇一般会計補正予算

・予算額

△七八五万円

・予算総額

一五億九、一一三万円

・補正の内容

制度改正に伴う認定

※千円単位を省略

システム改修委託

四〇九万円

給料ほか

△一、一九四万円

飯富病院組合定例会

■十二月二十二日

◇病院事業補正予算

・補正額

八、三二二万円

・補正の内容

資本的支出八、二二一

万円は過年度分損益

勘定留保資金をもつて補填。

身延町に嫁いで

身延町西嶋上二

笠井千恵子

秋の澄んだ空気の中、通勤の車から見える富士川沿いの色鮮やかな紅葉は見事です。毎年、それが観光でなく生活の中にあるのは贅沢なことで嬉しく思うと同時に、こ

で生活していることがまだ信じられないような感じもしてきます。私が育った茨城県の日立市は、東は太平洋、西は阿武隈山地に挟まれた南北に細長い町です。子どもの頃にはみんな、

「海は東、山は西」と覚えていたように思います。実家の塀の向こうには、大きな工場がありました。子どもの頃、ミシンのボビンを特大にしたような電線ドラムが好きで、有刺鉄線の間から敷地内をよく見ていました。

市内には、日立製作所関連のいくつもの会社や製作所の総合病院や学校まであり「企業城下町」と呼ばれるそうです。大企業があるために、

日本各地から人が来て、移り住んでいました。いろいろな土地の文化が交わる中で、大人たちはお互いを知り、それぞれを認めあつていくようなおつきあいを心がけていると教わりました。そんな

でも、夫が月一回の同級生の無尽会に出かけては嬉しそうに帰ってくる

何を優先して生活の場を選ぶのか、そのつど私たちの世代も考えてきたように、これから我が家の子どもたちも悩むところだと思っています。

結婚で地元の友だちと遠くなってしまうことは心細いことでした。でも、山梨で二十年以上生活するうちに、職場の同僚、子どもたちのお母さん仲間など、心おきなくおつきあいでいる方がいつの間にか増えました。特に子育てで真つ盛りの時期には、子どものことで一緒に楽しい時間を過ごしたり、心配事をお話したりできる人が、いろんな年齢層にいます。

ここでも、人との結びつきは、何にも代え難い貴重なものです。でも、この地域で生活していると、働く場所が限られてしまうこと、学校の統廃合が検討されていること、公共の交通が充実していないことなど、不便さは否めません。

より住みやすい町をつくっていくために、多くの方々が大変な努力をしてくださっていることに感謝しながら、これから自分もできることを少しずつ考えていこうと思っています。



「町民ひろば 第17回」

よく遊びに行った北茨城の海



よく遊びに行った北茨城の海

編集委員会 だより

今年の干支の丑に

は、のんびりとしたイメージがありますが、ことわざに「牛の歩みも千里」とあるように、努力を怠らなければ成果があがるという良いイメージもあります。

昨年、アメリカ発のサブプライム・ショックによる、世界同時不況がおこり、日本経済も、トヨタ自動車の創業以来初の連結営業赤字、ソニーの全世界で一六六千人の大リストラなど大きな打撃を受けました。

こういう苦境に負けず、努力を怠らず、一歩一歩、明るい身延町を目指して進んでいきたいと思っています。

(A・K)